



平成26年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年5月12日

上場会社名 株式会社東京ソワール 上場取引所 東
 コード番号 8040 URL http://www.soir.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 村越 眞二
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長 (氏名) 宮本 幸三 (TEL) 03-5474-6617
 四半期報告書提出予定日 平成26年5月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年12月期第1四半期の業績(平成26年1月1日～平成26年3月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第1四半期	5,767	13.2	346	82.0	377	78.1	218	58.0
25年12月期第1四半期	5,092	1.2	190	△24.5	212	△22.8	138	△27.0
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
26年12月期第1四半期	11.87		—					
25年12月期第1四半期	7.51		—					

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年12月期第1四半期	18,025	11,811	65.5
25年12月期	17,275	11,838	68.5

(参考) 自己資本 26年12月期第1四半期 11,811百万円 25年12月期 11,838百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年12月期	—	5.00	—	5.00	10.00
26年12月期	—	—	—	—	—
26年12月期(予想)	—	5.00	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年12月期の業績予想(平成26年1月1日～平成26年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	9,800	3.2	400	△20.2	460	△19.2	260	△26.6	14.14
通期	18,500	2.4	300	△17.7	420	△15.5	220	△23.4	11.97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

26年12月期 1 Q	19,300,000株	25年12月期	19,300,000株
26年12月期 1 Q	925,007株	25年12月期	923,331株
26年12月期 1 Q	18,375,523株	25年12月期 1 Q	18,385,130株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績等は今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。業績見通しに関する事項は、添付資料3ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

2. 資産管理サービス信託銀行株式会社（信託E口）が所有する当社株式 295,000株を自己株式に含めて記載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	P. 3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 3
3. 四半期財務諸表	P. 4
(1) 四半期貸借対照表	P. 4
(2) 四半期損益計算書	P. 6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	P. 7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	P. 8
(継続企業の前提に関する注記)	P. 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 8
4. その他	P. 8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間(平成26年1月1日～平成26年3月31日)における日本経済は、企業業績の改善に加え、消費税増税前の駆け込み消費もあって、景気は回復基調で推移しましたが、新興国経済の下振れリスクや消費税増税後の影響など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当アパレル業界におきましては、一部の高額商品の販売が好調に推移しましたものの、消費者の節約志向は根強く、加えて2月の二週に亘る週末の大雪などもあり、引き続き厳しい経営環境が続いております。

こうした状況の中で、当社は創立45周年の販売促進キャンペーンを行うとともに、百貨店販路ではキャリア世代に向けたブランド『INDIVI』を新規展開し、量販店販路では『エルアンノワール』の販売促進キャンペーンを推進するなど、展開店舗拡大の取り組みを強化いたしました。また、お客様のライフスタイルの変化による多様なニーズに対応するため、フォーマルコンセプトショップ「フォルムフォルマ」の出店をはじめ、オンラインショップ「フォーマルメッセージ・ドットコム」などのネット販売への取り組みを継続して強化しております。

このような取り組みに加え、消費税増税前の駆け込み購入が大きく影響したことから、商品別の売上高は、ブラックフォーマルが36億76百万円(前年同四半期比16.5%増)、カラーフォーマルが11億30百万円(同2.5%増)、アクセサリ類が9億60百万円(同14.9%増)と、当第1四半期累計期間の売上高は前年同四半期比6億74百万円増の57億67百万円(同13.2%増)となりました。

利益面では、利益率が高いブラックフォーマルが好調に推移したことから、売上総利益率は43.9%(前年同四半期比0.6ポイント増)となりましたが、新規出店に伴う販売員給与や賃借料並びに販売促進費などの増加により、販売費及び一般管理費は、前年同四半期比1億72百万円増(同8.6%増)となりました。

この結果、当第1四半期累計期間の業績は、営業利益は3億46百万円(前年同四半期比82.0%増)、経常利益は3億77百万円(同78.1%増)、四半期純利益は2億18百万円(同58.0%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期会計期間末における総資産は180億25百万円となり、前事業年度末に比べて7億50百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金の減少3億13百万円や棚卸資産の減少2億74百万円があったものの、売上債権の増加13億97百万円等によるものであります。

負債は、前事業年度末に比べて7億77百万円増加し62億14百万円となりました。これは主に、返品調整引当金の増加3億1百万円や仕入債務の増加2億79百万円等によるものであります。

純資産は、前事業年度末に比べて26百万円減少し118億11百万円となりました。これは主に、利益剰余金の増加1億24百万円があったものの、その他有価証券評価差額金の減少1億50百万円によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期累計期間末の現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末に比べて、3億13百万円減少し12億11百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は1億91百万円（前年同四半期は96百万円の支出）となりました。これは主に、税引前四半期純利益3億77百万円や返品調整引当金の増加3億1百万円等があったものの、売上債権の増加13億97百万円や未払金の減少1億47百万円等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は24百万円（前年同四半期は18百万円の支出）となりました。これは主に、固定資産の取得による支出16百万円や敷金及び保証金の差入による支出5百万円等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は96百万円（前年同四半期は94百万円の支出）となりました。これは主に、配当金の支払いによる支出87百万円等によるものであります。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、第1四半期累計期間において概ね計画どおり推移いたしました。計画には、消費税増税前の駆け込み購入や増税後の反動による影響を織り込んでいることから、平成26年2月13日公表しました「平成25年12月期決算短信（非連結）」の業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する情報

（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年12月31日)	当第1四半期会計期間 (平成26年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,524,862	1,211,691
受取手形及び売掛金	3,381,184	4,406,932
電子記録債権	253,612	625,743
商品及び製品	4,156,128	3,899,609
仕掛品	191,129	174,011
原材料	2,809	2,311
その他	356,146	444,679
貸倒引当金	△4,541	—
流動資産合計	9,861,330	10,764,979
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,987,814	1,987,814
その他(純額)	1,271,866	1,255,378
有形固定資産合計	3,259,680	3,243,193
無形固定資産		
投資その他の資産	36,546	35,504
投資有価証券	2,194,559	1,971,935
賃貸不動産(純額)	1,584,424	1,581,439
その他	341,955	431,850
貸倒引当金	△3,196	△3,105
投資その他の資産合計	4,117,743	3,982,119
固定資産合計	7,413,971	7,260,816
資産合計	17,275,301	18,025,796
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,032,579	775,324
電子記録債務	2,144,596	2,681,101
未払法人税等	98,379	274,889
賞与引当金	—	112,524
返品調整引当金	432,000	733,000
その他	869,756	791,714
流動負債合計	4,577,312	5,368,554
固定負債		
退職給付引当金	520,365	506,785
役員退職慰労引当金	176,356	182,524
資産除去債務	39,038	39,216
その他	124,211	117,249
固定負債合計	859,971	845,775
負債合計	5,437,284	6,214,330

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年12月31日)	当第1四半期会計期間 (平成26年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,049,077	4,049,077
資本剰余金	3,732,777	3,732,777
利益剰余金	3,881,383	4,006,168
自己株式	△340,818	△341,249
株主資本合計	11,322,420	11,446,774
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	515,597	364,691
評価・換算差額等合計	515,597	364,691
純資産合計	11,838,017	11,811,466
負債純資産合計	17,275,301	18,025,796

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年3月31日)	当第1四半期累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年3月31日)
売上高	5,092,848	5,767,467
売上原価	2,889,085	3,235,259
売上総利益	2,203,762	2,532,208
販売費及び一般管理費	2,013,406	2,185,784
営業利益	190,356	346,423
営業外収益		
受取利息	2	11
受取配当金	131	155
受取賃貸料	21,690	21,690
受取ロイヤリティ	8,053	10,967
その他	3,296	9,690
営業外収益合計	33,175	42,515
営業外費用		
賃貸費用	8,517	8,450
支払手数料	2,428	2,393
その他	404	166
営業外費用合計	11,350	11,010
経常利益	212,181	377,928
特別損失		
減損損失	3,931	—
特別損失合計	3,931	—
税引前四半期純利益	208,250	377,928
法人税、住民税及び事業税	191,490	262,857
法人税等調整額	△121,267	△103,072
法人税等合計	70,223	159,785
四半期純利益	138,027	218,143

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年3月31日)	当第1四半期累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	208,250	377,928
減価償却費	31,702	36,691
減損損失	3,931	—
受取利息及び受取配当金	△134	△166
返品調整引当金の増減額 (△は減少)	223,000	301,000
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	739	△4,632
賞与引当金の増減額 (△は減少)	110,979	112,524
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△9,227	△13,579
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	4	6,168
売上債権の増減額 (△は増加)	△829,255	△1,397,880
たな卸資産の増減額 (△は増加)	175,490	274,134
前払費用の増減額 (△は増加)	64,751	1,200
仕入債務の増減額 (△は減少)	201,908	279,250
未払金の増減額 (△は減少)	△67,355	△147,620
未払消費税等の増減額 (△は減少)	53,077	84,051
その他	△75,071	△20,665
小計	92,789	△111,595
利息及び配当金の受取額	134	168
法人税等の支払額	△189,545	△79,853
営業活動によるキャッシュ・フロー	△96,622	△191,279
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△3,773	△3,782
固定資産の取得による支出	△13,229	△16,979
貸付けによる支出	△1,690	△2,561
貸付金の回収による収入	1,523	4,225
敷金及び保証金の差入による支出	△5,532	△5,898
敷金及び保証金の回収による収入	3,768	—
その他	0	61
投資活動によるキャッシュ・フロー	△18,933	△24,934
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△87,162	△87,055
自己株式の取得による支出	△535	△430
その他	△6,461	△9,470
財務活動によるキャッシュ・フロー	△94,159	△96,956
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△209,715	△313,171
現金及び現金同等物の期首残高	1,748,951	1,524,862
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,539,236	1,211,691

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

4. その他

当社が加入する「東京アパレル厚生年金基金」(総合型)は、平成26年4月24日開催の代議員会において、基金解散の方針が決議されました。なお、基金を解散するにあたり、特例解散の適用を申請する予定であります。

①解散方針決議の理由

同基金は、年金資産運用が国内外のリスク要因で相場が大きく変動する時代となり、安定した運用収益を確保できない中、堅実な資産運用をまいりました。一昨年来の円安・株高の恩恵などもありましたが、同基金の成熟度(加入員に対する受給権者の割合)は非常に高く、依然として代行割れは解消されていない状況です。平成25年6月に成立した「公的年金制度の健全性及び信頼性の確保のための厚生年金保険法等の一部を改正する法律」に伴い、同基金が存続基準を満たすには大幅な掛金引上げが必要となることから、加入企業の経営や雇用に影響を及ぼすことが懸念されるため、「解散」の選択肢しか残されていないことを確認し、平成26年4月24日開催の代議員会において解散の方針を決議いたしました。

同基金は、代行部分の積立不足を分割して納付可能な特例解散の方針を選択しておりますが、同基金の解散には、厚生労働省の認可が必要で、解散認可の申請にあたっては基金に加入している事業主及び加入員等の一定比率以上の同意が必要となります。また、年金記録の突合等が完了することから、実際の解散は来年度以降となる見込みであります。

②解散に伴う費用の発生と業績に与える影響

同基金の解散に伴い費用の発生が見込まれますが、解散に伴う費用の金額と業績に与える影響につきましては、現時点では不確定要素が多く、合理的な見積り金額が算定できません。今後、見積り金額が判明した時点で、会計処理を行います。